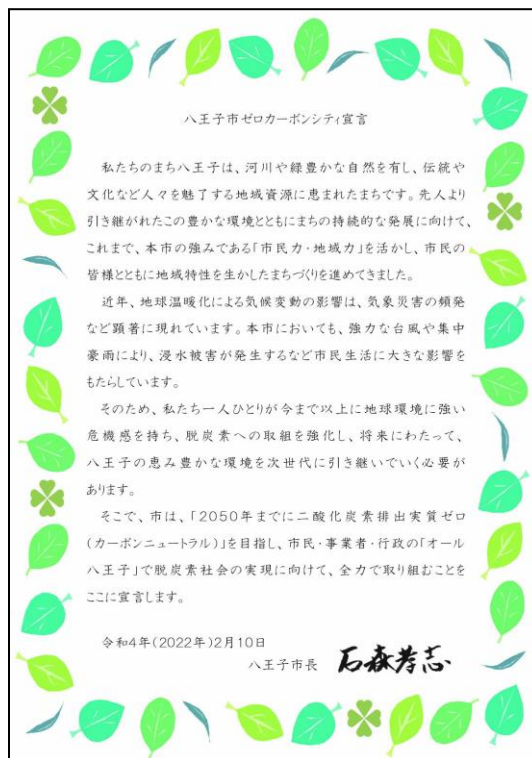


第2章 ゼロカーボンシティの実現に向けて

近年の地球温暖化による気候変動への影響は、極端な大雨や、猛暑日の増加などが顕在化しています。このような気候変動の影響を抑制するためにも、地球温暖化対策は喫緊の課題となっています。

本市では、地球温暖化対策地域推進計画を策定し、取組を進めているところですが、国の2050年カーボンニュートラル宣言や2030年温室効果ガスの削減目標の引き上げを受けて、より一層の取組を強化し、市民・事業者・行政の「オール八王子」で取り組む必要があることから、令和4年(2022年)2月10日に「ゼロカーボンシティ宣言※」を表明しました。

本市の温室効果ガスの排出状況は、二酸化炭素が約9割を占めています。この二酸化炭素排出量は3割が家庭から、3割が事業者から、3割が交通から排出されており、市民の皆さんの生活に直結しているところで排出されています。



そこで、本市では、地球温暖化対策の拠点として開設した、八王子市地球温暖化防止活動推進センター(クールセンター八王子)では、市民・事業者への情報提供や地球温暖化問題をわかりやすく、身近に考えて、実践できるさまざまな講座を開催しています。

また、次世代を担う子どもたちに地球温暖化問題を普及啓発していくことは、子どもから家庭に波及し社会全体へとつながる効果もあることから、重要なことです。本市では、地球温暖化防止活動推進員が講師となり、学童保育所で子どもたち向けに学童エコスクールを実施しています。

なお、取組は行政だけでできることではありません。地球温暖化対策に知見の高い事業者と連携し脱炭素社会の実現に向け取組を強化していくため、ゼロカーボンシティ宣言の表明と同時に、東京電力パワーグリッド株式会社多摩総支社と「ゼロカーボンシティの実現に向けた共創での連携協定」を締結しました。省エネに向けた取組、再エネ等の利用及び導入の拡大、本市の特徴でもある豊かな自然環境の持つ多様な機能の維持向上などで連携し、ゼロカーボンシティ実現を推進していきます。



ゼロカーボンシティ実現には、一人ひとりが自分事として地球温暖化問題を捉え、それに対し対策を講じていくかが鍵となります。市民の皆さんが自分事として捉え、取り組んでいただけるよう、ともに考え実践していきます。

※脱炭素社会に向けて、2050年二酸化炭素排出量実質ゼロに取り組むことを表明した地方公共団体のこと。